

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

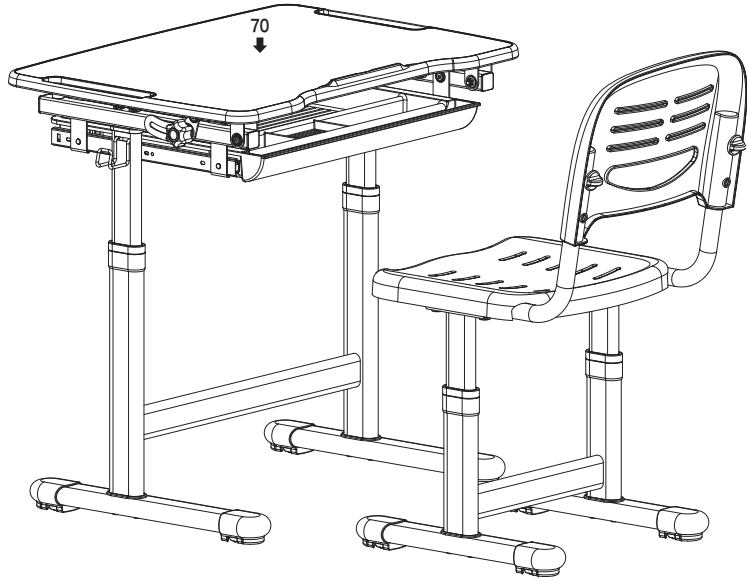
**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……

プラスドライバー  
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用することをお勧めします)

**完成図**



引き出し耐荷重5kg  
デスク総耐荷重75kg

チェア耐荷重100kg

**▲ 注意 ▲**

本製品の組立て作業は必ず大人2人以上で行ってください。

**▲ 注意 ▲**

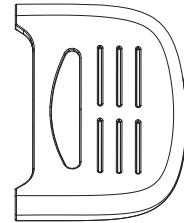
指などを挟まないように十分ご注意ください。  
組立て時のケガ等を防ぐために、手袋の着用をおすすめします。

**▲ 注意 ▲**

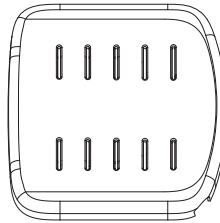
ボルトの取付け時にプラスドライバーが必要です。ご注意ください。

**組立て部品**

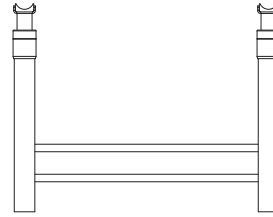
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-DESKN016Wなど)と下記の部品番号(①~⑭)と  
部品名(ワッシャーなど)をお知らせください。



①椅子背もたれ×1個



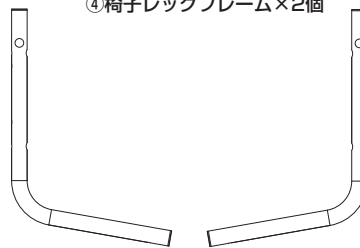
②椅子座面×1個



③椅子メインフレーム×1個

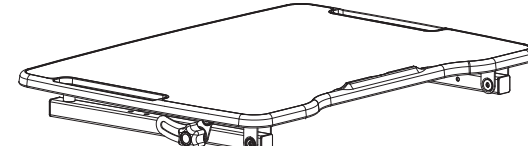


④椅子レッグフレーム×2個

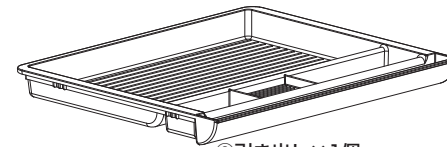


⑤椅子パイプフレーム(右)×1個 ⑥椅子パイプフレーム(左)×1個

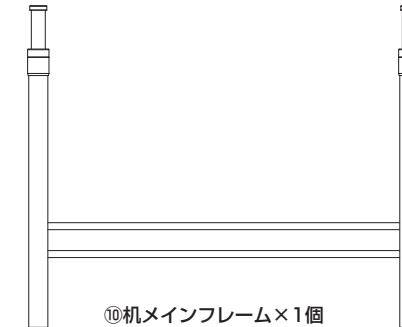
⑦椅子リーンフォースメント×1本



⑧天板×1個



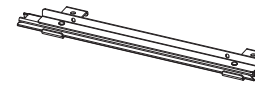
⑨引き出し×1個



⑩机メインフレーム×1個



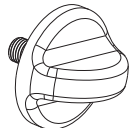
⑪スライドレール(左)×1本



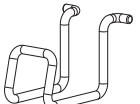
⑫スライドレール(右)×1本



⑬机レッグフレーム×2個



⑭ノブボルト×2個



⑮フック×1個



⑯スプリングワッシャー×8枚



⑰ワッシャー×12枚

**使用ボルト**



⑱タッピングボルトA×4本(5×24)



⑲タッピングボルトB×4本(4×14)



⑳ボルトC×4本(M6×45)



㉑ボルトD×12本(M6×20)



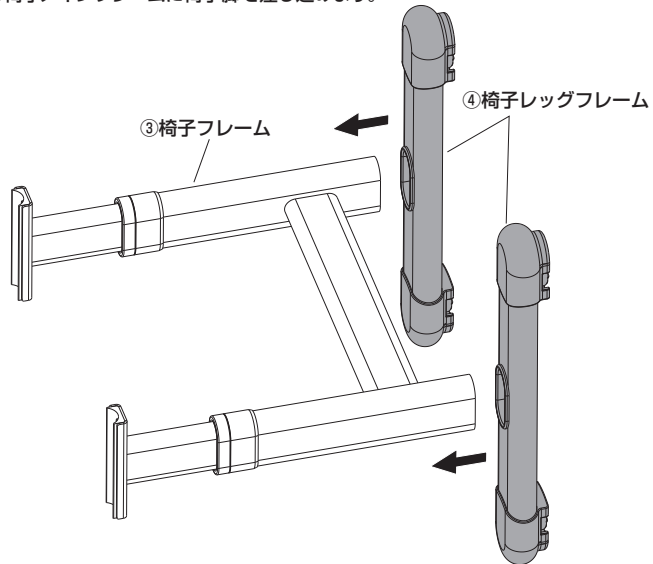
㉒ボルトE×4本(M6×12)



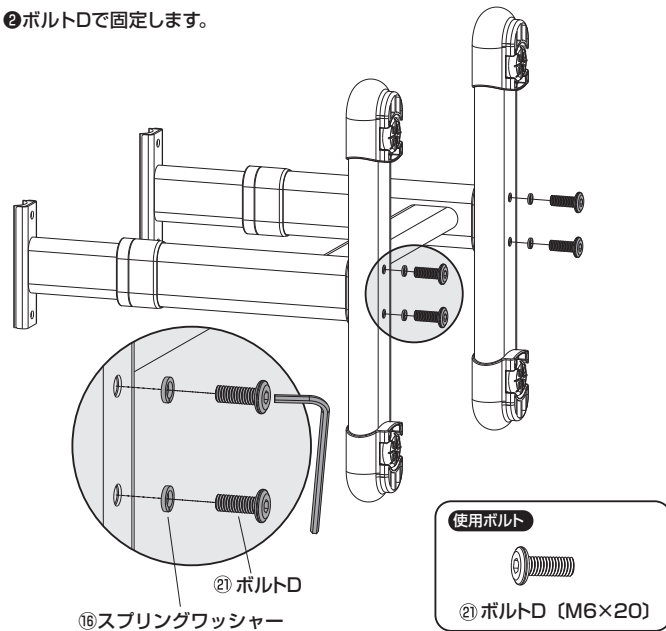
㉓六角レンチ(4mm)×1本

# 1 椅子メインフレームに椅子レッグフレームを取付けます。

① 椅子メインフレームに椅子脚を差し込みます。

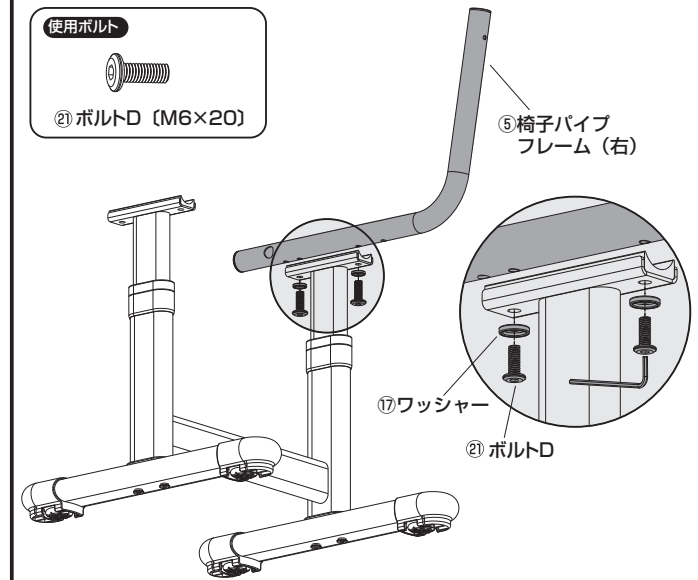


② ボルトDで固定します。

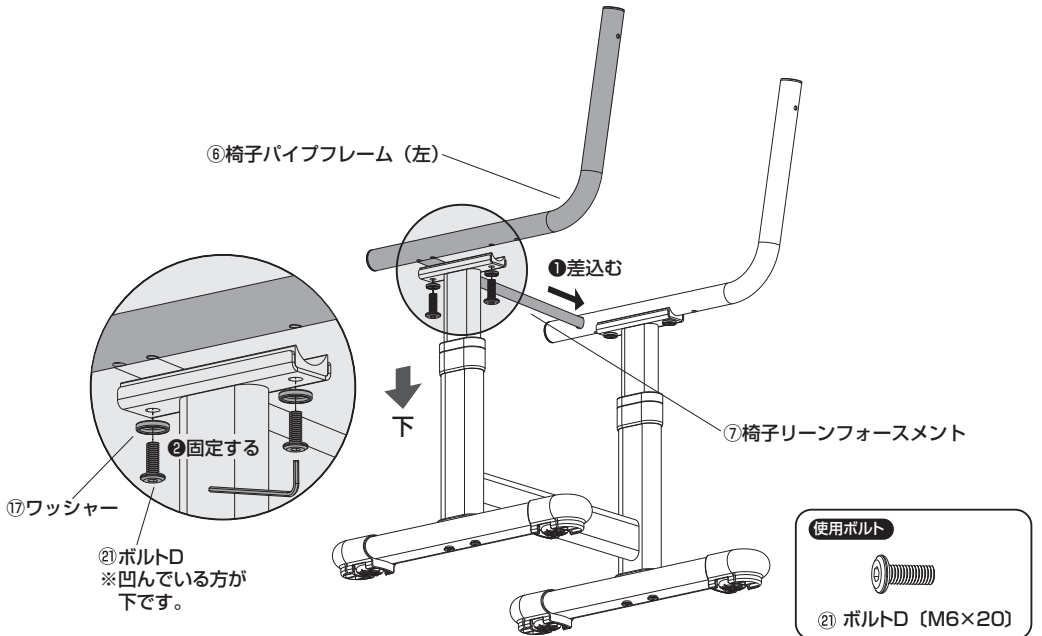


# 2 椅子メインフレームに椅子パイプフレーム (右) を取付けます。

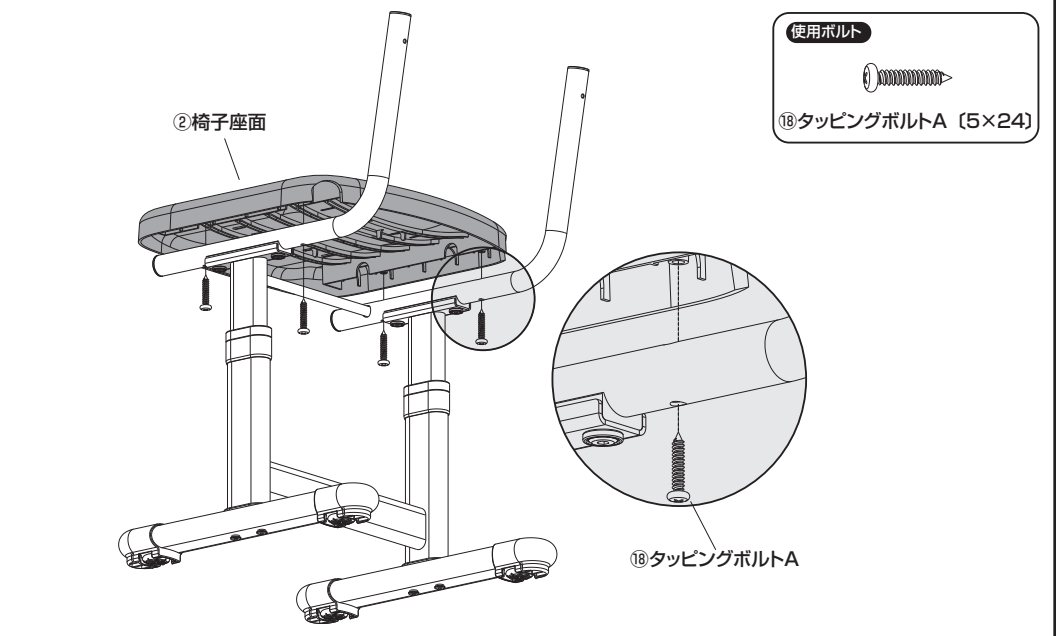
使用ボルト  
② ボルトD (M6×20)



# 3 椅子リーフォースメントと椅子パイプフレーム (左) を取付けます。

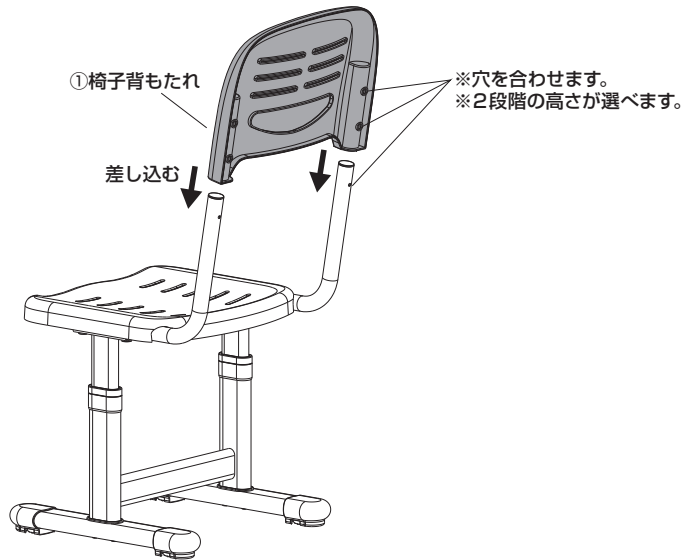


# 4 椅子パイプフレームに椅子座面を取付けます。

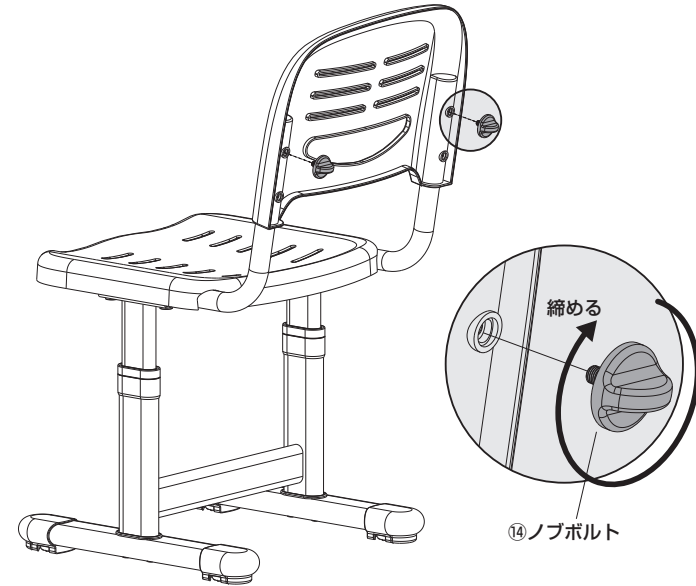


## 5 椅子パイプフレームに椅子背もたれを取付けます。

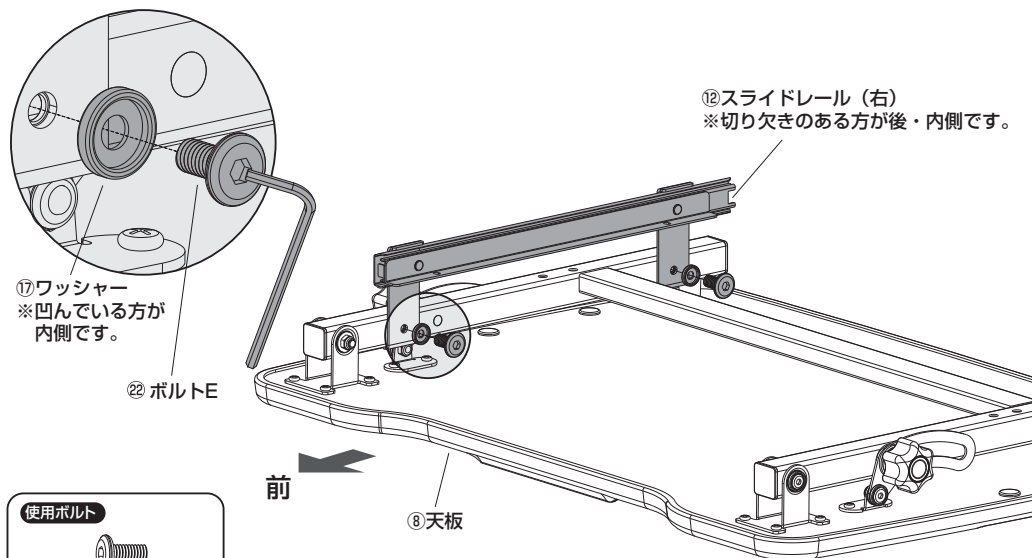
①椅子パイプフレームに椅子背もたれを差し込みます。



②ノブボルトで固定します。



## 6 天板にスライドレールを取付けます。



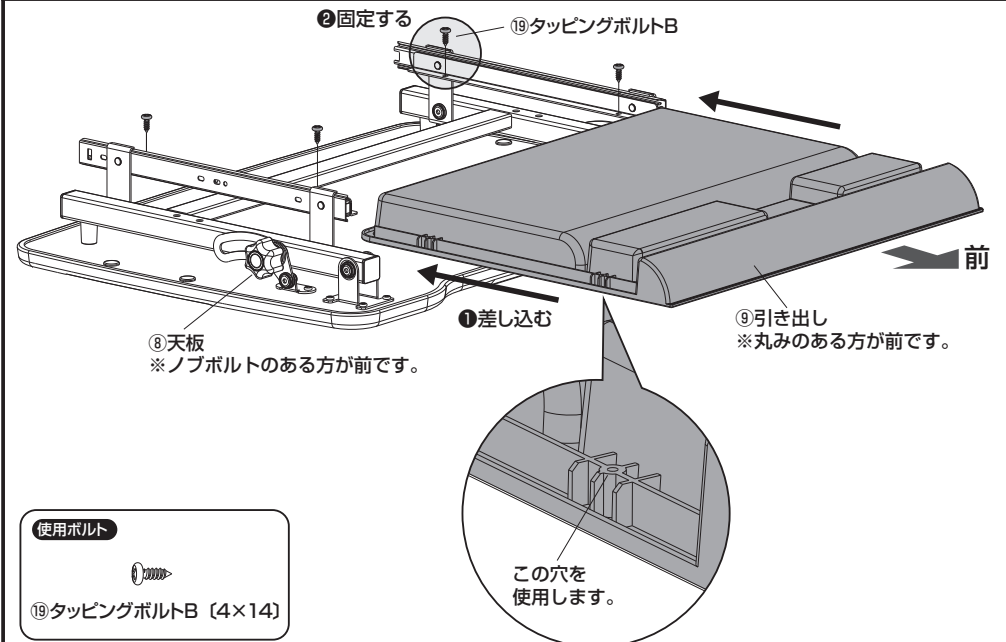
使用ボルト



⑮ボルトE (M6×12)

※同様にスライドレール (左) を取付けます。

## 7 スライドレールに引き出しを取付けます。



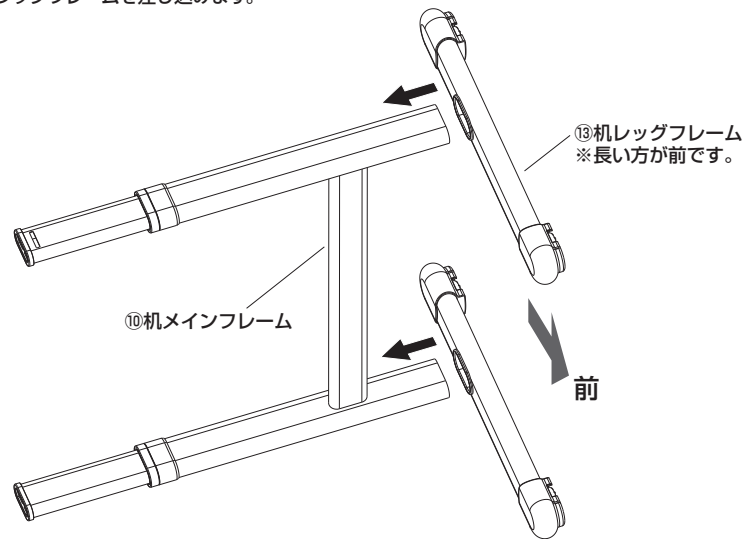
使用ボルト



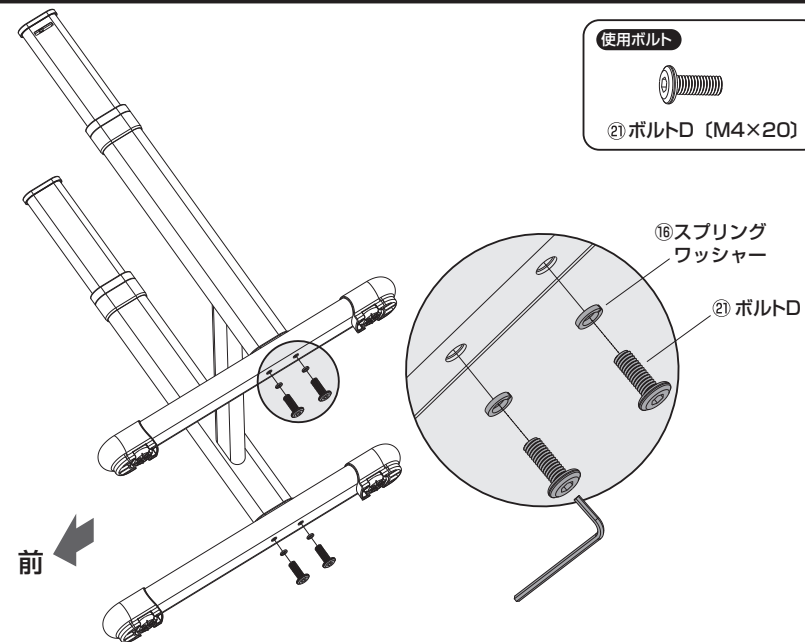
⑰タッピングボルトB (4×14)

## 8 机メインフレームに机レッグフレームを取付けます。

① 机メインフレームに机レッグフレームを差し込みます。



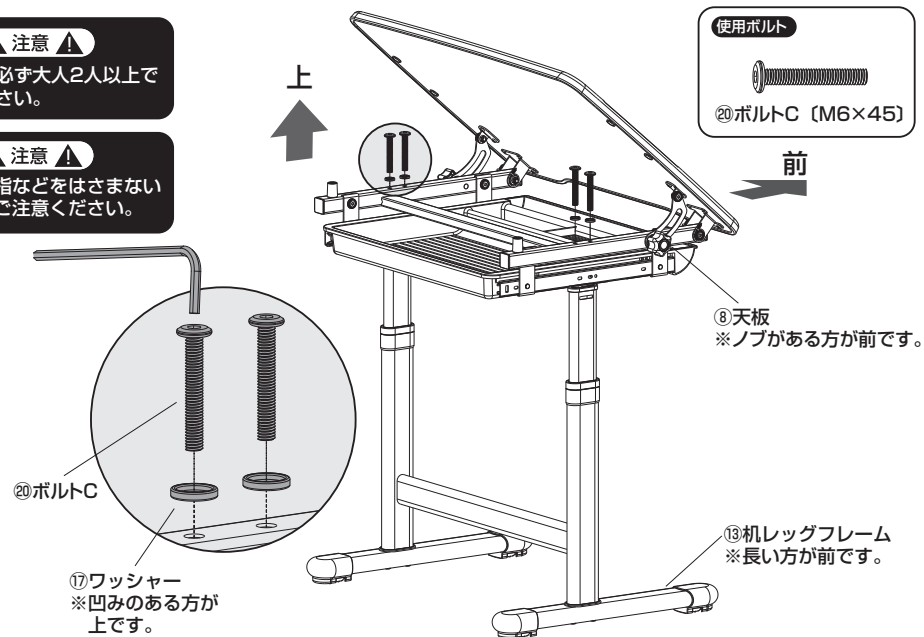
② ボルトDで固定します。



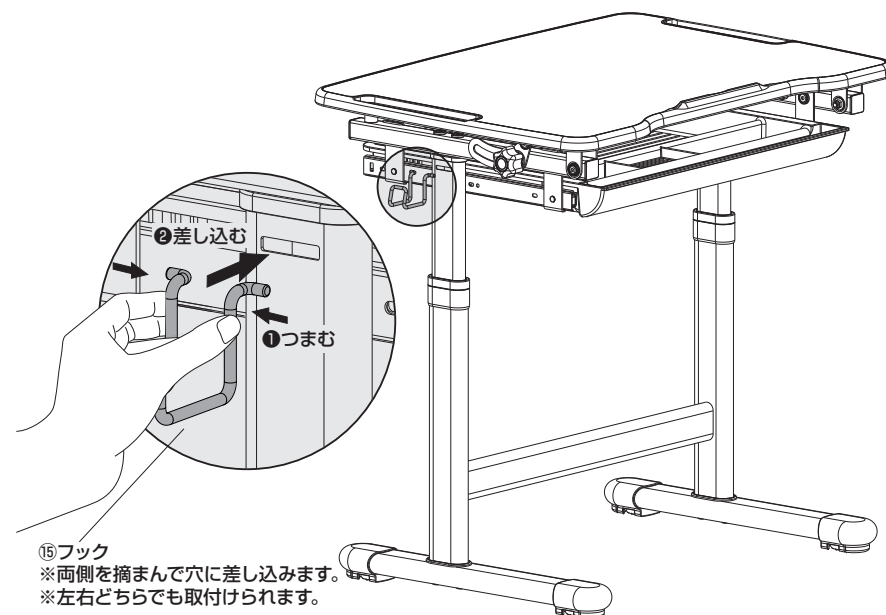
## 9 机メインフレームに天板を取付けます。

**▲ 注意 ▲**  
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

**▲ 注意 ▲**  
可動部分で指などははさまないように十分ご注意ください。



## 10 フックを取付けて完成です。

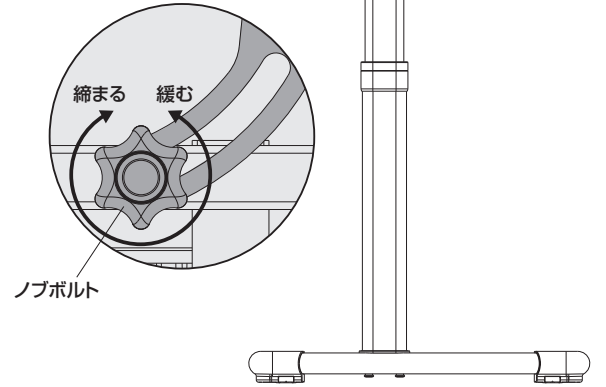


### 天板の角度調節方法

※ノブボルトを緩めると天板の角度調節ができます。  
※角度調節後はノブボルトをしっかりと締め付けてください。

▲ 注意 ▲

可動部分で指などはさまないように十分ご注意ください。

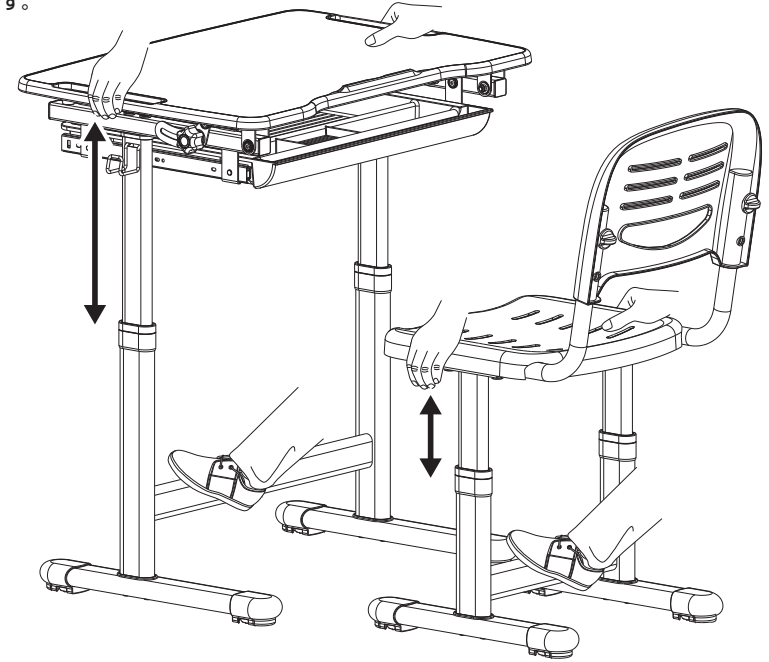


### 天板と座面の高さ調節方法

※右図のようにフレームに足を置き、両手を使って任意の高さまで待ち上げます。  
※下げる場合は、フレームに足を置き、両手を使って最大の高さまで待ち上げます。  
次に、最小の高さまでゆっくりと下げます。

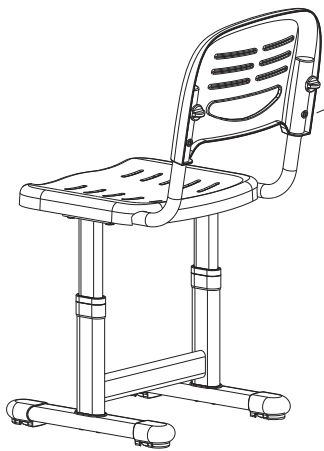
▲ 注意 ▲

可動部分で指などはさまないように十分ご注意ください。



### 背もたれの高さ調節方法

背もたれのノブボルトを取外し、使用する穴を変更することで背もたれの高さを変えることができます。



### 使用上のご注意 可動部分で指をはさまないように注意してください。

